

福島第一原子力発電所 3号機タービン建屋滞留水 移送装置設置作業におけるモルタル流入について

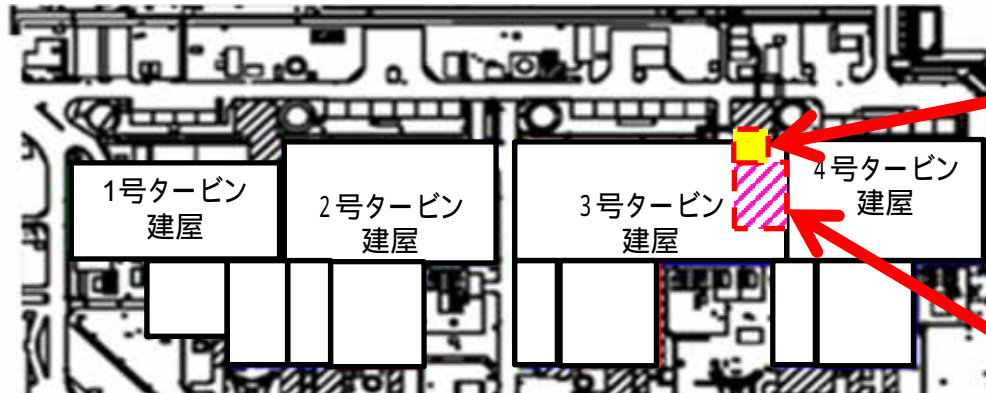
< 参 考 資 料 >
2 0 1 9 年 1 2 月 5 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

3号機海水配管トレンチについては、震災以降、建屋内滞留水が流入していたことから、滞留水の移送、充填閉塞工事を実施し、タービン建屋接続部を除き、2016年3月に工事が完了しております。建屋接続部については、建屋滞留水の水位低下に合わせて充填することとしておりました。

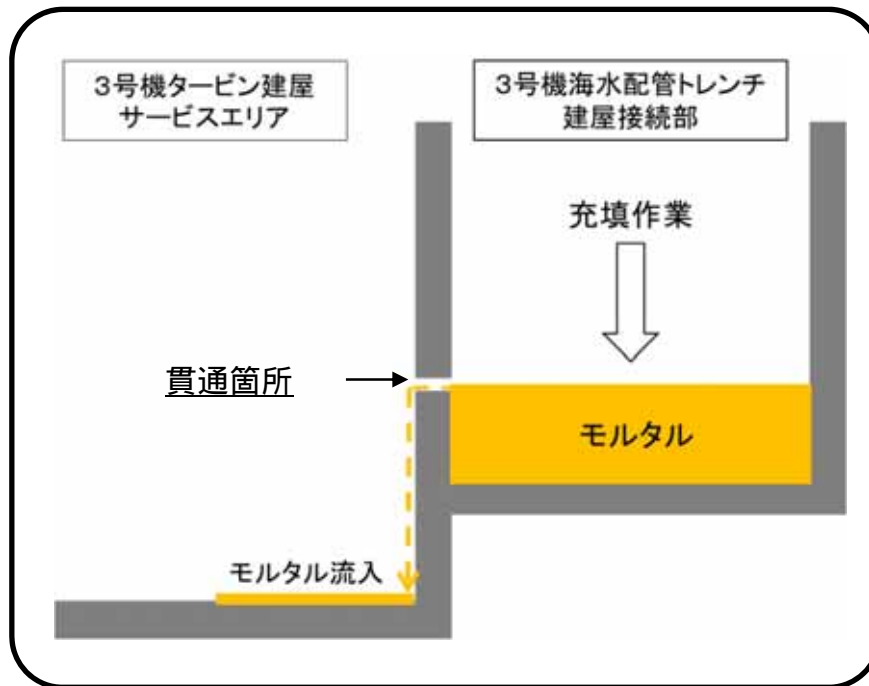
建屋接続部については、2019年11月5日よりモルタルの充填作業を実施しておりますが、12月3日に充填箇所隣接している3号機タービン建屋地下1階にあるサービスエリアにモルタルが流入していることを協力企業作業員が確認しました。当該エリアについては、滞留水を移送するためのポンプを新たに設置することを目的に10月1日より柔構造アームを用いて、既設ポンプの撤去作業を進めており、12月4日に作業の影響有無について調査を実施したところ、既設ポンプが収められているピット内にもモルタルが流れこんでいることを確認しました。今後、詳細を調査して参ります。

モルタル流入イメージ



3号機海水配管トレンチ建屋接続部閉塞作業箇所

モルタル流入が発生した3号機タービン建屋サービスエリア



12月2日
充填材(モルタル)
2.4 m³ 充填

モルタルの一部流入

モルタル流入箇所(断面)